

高橋カーテンウォール工業との 販売提携契約締結のお知らせ

当社はこのたび、プレキャストコンクリート業界のリーディングカンパニーである高橋カーテンウォール工業株式会社(東証スタンダード上場)との間で、「HPC(ハイブリッドプレストレスト・コンクリート)」製品の営業・販売に関する販売提携契約を締結いたしました。

1. HPC(ハイブリッドプレストレスト・コンクリート)の特長と当社の取り組み

HPCは、株式会社HPC沖縄より知的財産権の供与を受け、当社が営業・製造・販売までを一貫して展開している先進的なコンクリート技術です。従来のコンクリート製品と比較して圧倒的な軽量化を実現するとともに、従来技術では困難であった緻密で自由度の高い意匠表現を可能にします。建築および土木分野において、これまでにない新たな空間表現や構造用途への可能性を切り拓く技術として期待が高まっています。

2. 本販売提携による双方のメリットとシナジー効果

本提携は、両社が長年培ってきた強みを融合させ、双方に大きな成果と発展をもたらす戦略的なパートナーシップです。

◇高橋カーテンウォール工業の強み:プレキャストコンクリート・カーテンウォール事業を通じて蓄積された高度な設計・製造・施工ノウハウと、大手建設会社、設計事務所、デベロッパー等との強固な営業ネットワークを有しています。

◇当社の強み:先進のHPC技術に基づく一貫した製造・供給体制と、軽量・高意匠な製品開発力を有しています。

これらの強みを相互に補完・活用することで、具体的な施策として以下の取り組みを推進してまいります。

- 1.営業ルートの活用による市場拡大:高橋カーテンウォール工業の広範な顧客ネットワークを通じて、建築市場におけるHPC製品の需要開拓と販路拡大を急速に加速させます。
- 2.建築外装分野への適用検証:高橋カーテンウォール工業の技術的知見を活かし、HPC製品の建築外装分野等への適用可能性を検証。より高品質で付加価値の高い建築部材としての提案力を強化します。
- 3.共同マーケティングの実施:両社共同でのマーケティング活動を展開し、新たな事業機会および収益機会の創出を目指します。

3. 今後の展望

本提携を通じて、高橋カーテンウォール工業と当社は相互の発展を図るだけでなく、多様化する現代の建築ニーズに柔軟に対応し、建築業界全体への新たな価値提供と持続的な成長に邁進してまいります。

会 計 検 査



『公共工事と会計検査』の改訂8版より「会計検査こぼれ話」をご紹介します。
一息ついて読んでいただければ幸いです(^-^)/

著者の市川 啓次郎(いちかわ けいじろう)氏は昭和19年生まれ。
元会計検査院 国土交通総括検査室長を務められていました。

会計検査こぼれ話：青函トンネルを車で走り抜ける

青函トンネルは全長53.85Km、世界一長いトンネルです。

開業前には建設に要した巨額の費用と収益が釣り合わないとして色々批判を浴びましたが、現在は1日50本もの貨物列車が設定されていて、北海道・本州間の貨物輸送に重要な役割を果たしています。また、北海道新幹線の新青森・新函館間が着工され、青函トンネルについては在来線と新幹線両方が走行できるよう三線軌条化工事も行われています。

海底約100mの地中を掘削するトンネル工事は難工事でした。当初はTBM(トンネルボーリングマシン)を使って掘削をしましたが、軟弱な地層を進むにつれ、異常出水が多発、また機械の自重で坑道の下へ沈み、前進も後退もできなくなるなどして役に立たなくなったのでTBM掘削をあきらめ、ナトム工法に変更しました。工事は海底部にさしかかるに従い地盤が軟弱となり出水が増えてきたので、セメントミルクを切羽から前方へ高圧で注入し、セメントが固まった後掘っていくという方法を採用しました。それでもなお大量の出水を防ぐことはできず、坑道の途中で進むことを断念し、坑口を塞いだうえで、別ルートを掘った箇所が先進導坑では数箇所あります。

青函トンネルの内部は本トンネルとこの先進導坑さらにはこれを結ぶトンネルなどまさに巨大迷路となっています。推理作家をこの現場へ案内すればスリリングな完全犯罪ストーリーが出来上がること必定です。トンネル内で万一事故が発生した場合、乗客は海底部では先進導坑へ、また陸底部では定点と呼ばれる箇所から地上へ避難することになります。



工事中の切羽へ向かうには工事用の斜坑からトロッコで向かいました。うす暗い坑内を時速数キロのトロッコに数十分も乗っているとみんなこっくりこっくりしてしまったものです。

トンネル開通後は、先進導坑が管理用トンネルとなり車走行が可能となったので、北海道方からトンネルに入り、いくつかの現場を見ながらそのまま本州方面へ抜けることができました。青函トンネルを車で走り抜けた貴重な体験です。(K)



レオ

ちゃんの製品紹介コーナー

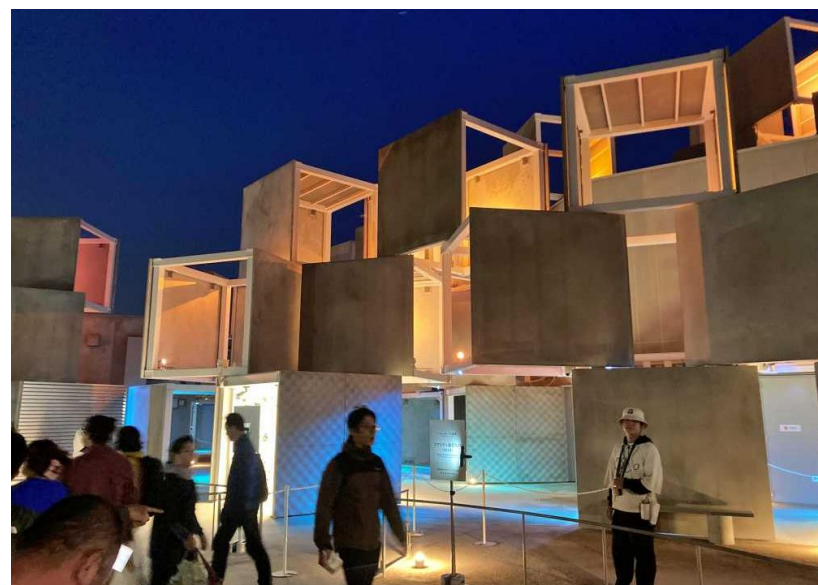


◆◆ HPC®製品 ◆◆

こんにちは！ライオン通信のレオちゃんです♪

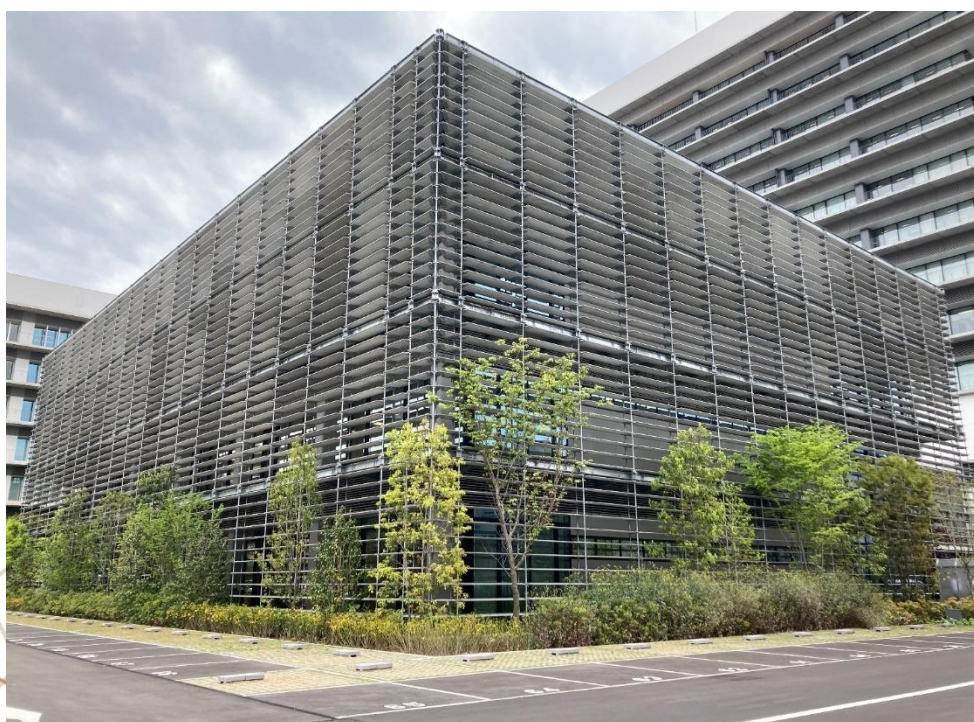


今月は、TOPページでご紹介したHPC®製品の一部の納品実績ををご紹介します！
是非ご覧ください^^



3Dプリンティングを使用したパネル

2025年大阪・関西万博 シグネチャーパビリオン「いのちめぐる冒険」で仕上げ材として採用。
厚さ40mmで製作したパネルは耐久性を確保しながら薄肉化を可能とした。
HPC®の塩害に強いという特性を活かし、練り混ぜ水に大阪湾の海水を100%使用した。
一部のパネルは3Dプリンティング型枠を使用し、外装材として求められる耐久性と高い意匠性を両立している。
会期終了後、パネルは全国各地にリユースされている。



大阪市/NTT西日本研修センタ
建物の外周部の横ルーバーとして採用。
製品の中心部分から両端部に向かって
テーパ形状となっており、最厚40mm、最薄20mmとなっている。



エントランスパネル

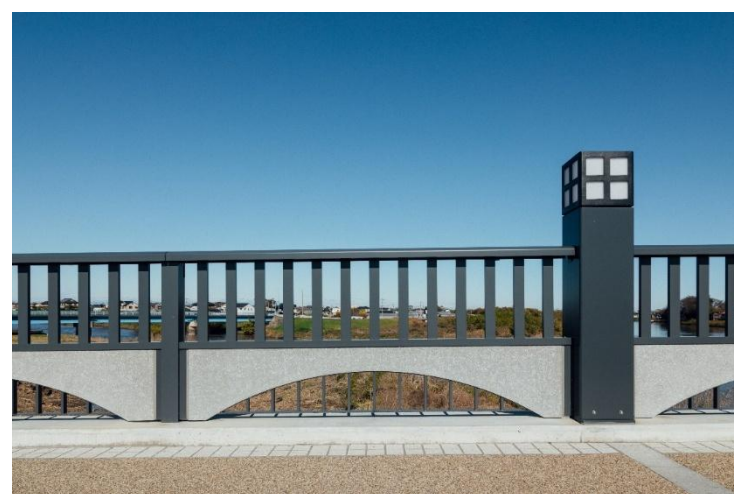
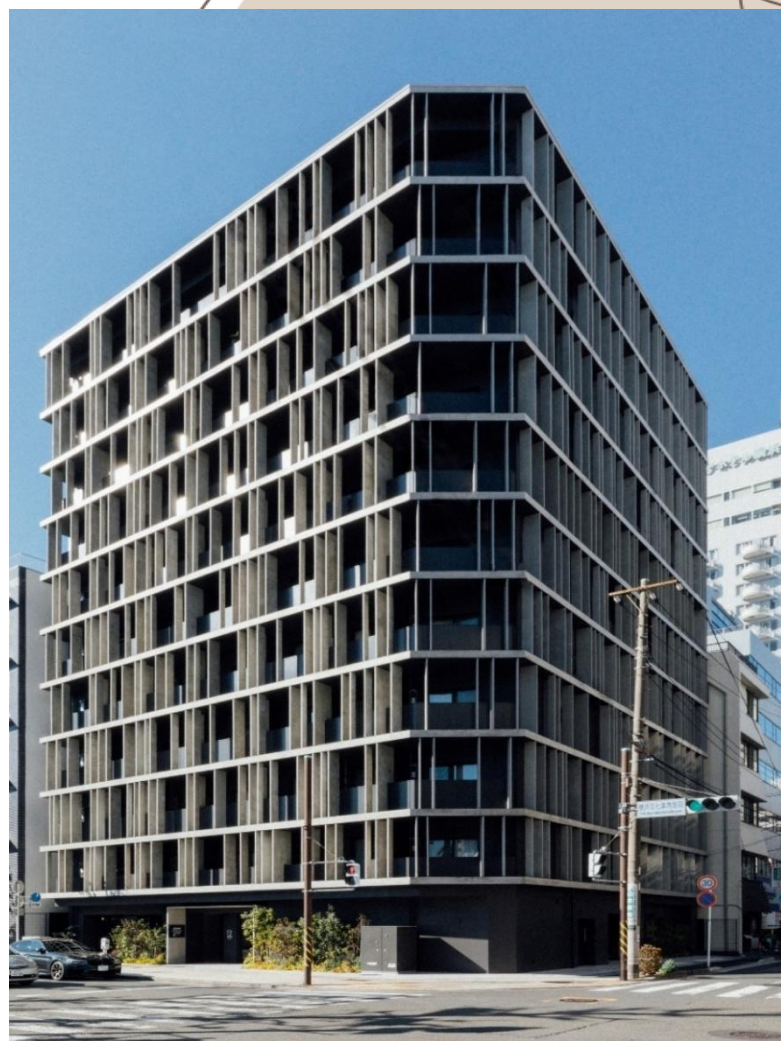
横浜市/集合住宅

外装で縦ルーバーとして採用。

ルーバーに加え、エントランスにも使用され、建築全体の統一感ある表情を形成。

厚さ40mmが生み出すシャープなラインと素材感により、光と影の変化を際立たせる。

エントランスパネルにはアクリルを埋め込み、背後からの光で星座を表現している。



埼玉県吉川市/吉川橋架け替え工事

橋梁高欄として採用。厚さ55mmで部材の軽量化により施工性が向上。

化粧骨材を用いたショットブラスト仕上げにより周辺景観とも調和し、構造合理性と意匠性を兼ね備えた製品となっている。



躯体取り付け部

宮城県仙台市/某ビル 新築工事(施工中)

HPC® パネルをブラケットで挟み込み、躯体にボルト固定している。

